

参加無料 事前登録制

1月31日(金) 令和2年

10:00 ~ 17:10 (開場9:30)

文部科学省委託事業 ポスト「京」重点課題4「観測ビッグデータを活用した気象と地球環境の予測の高度化」は最終年度を迎えました。将来的に気象庁の予報業務の精度向上への貢献を目指して5年間にわたる研究開発活動で得られた知見および成果を、気象庁関係者をはじめ気象研究者のコミュニティ、大学や自治体関係者、一般企業等の関連分野の方に対して広くご紹介いたします。



第4回

成果報告会

ポスト「京」(スーパーコンピュータ「富岳」)重点課題4
観測ビッグデータを活用した気象と地球環境の予測の高度化



会場

気象庁 講堂

東京都千代田区大手町1-3-4 2F

東京メトロ(東西線)「竹橋」4番出口から徒歩1分
東京メトロ(千代田線・半蔵門線・丸ノ内線)
都営三田線「大手町」C2b番出口から徒歩5分
JR 東京駅 丸の内北口出口から徒歩20分
お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。



主催：海洋研究開発機構
共催：気象庁気象研究所

問合せ先
(成果報告会事務局)

国立研究開発法人海洋研究開発機構 研究推進部 研究推進第2課

TEL : 045-778-5753 FAX : 045-778-5463 電子メール : pi4-contact@jamstec.go.jp
URL : <http://www.jamstec.go.jp/pi4/>



成果報告会

■ プログラム

*プログラムについては変更の可能性があります。

9:30~10:00	開場・受付開始	13:30~13:45	実運用可能な 日本沿岸海況予測システムの開発 黒木 聖夫 (海洋研究開発機構)
10:00~10:05	開会挨拶 高橋 桂子 (海洋研究開発機構 重点課題4責任者)	13:45~14:00	台風の活動度に注目した高解像度 非静力学モデルを用いた大メンバー アンサンブルシミュレーション 山田 洋平 (海洋研究開発機構)
10:05~10:15	来賓挨拶(気象研究所)	14:00~14:15	ポスト「京」プロでの台風予測研究の進展 中野 満寿男 (海洋研究開発機構)
10:15~10:30	5年間の研究紹介 高橋 桂子 (海洋研究開発機構 重点課題4責任者)	14:15~14:25	質疑応答: 10分
10:30~12:10	【サブ課題A】	14:25~14:45	休憩 (ポスターセッション)
10:30~10:40	サブ課題紹介 瀬古 弘 (海洋研究開発機構/気象研究所)	14:45~15:35	【サブ課題C】
10:40~10:55	ビッグデータ同化に向けた 観測誤差相関を考慮するデータ同化 寺崎 康児 (理化学研究所計算科学研究センター)	14:45~14:55	サブ課題紹介 滝川 雅之 (海洋研究開発機構)
10:55~11:10	観測誤差時空間相関を考慮した 変分法によるドップラー速度データ 同化の検討 藤田 匡 (気象研究所)	14:55~15:10	高解像度シミュレーションで解き明かす 物質の流れ 山下 陽介 (海洋研究開発機構)
11:10~11:25	1600メンバー EnVARの結果を使った アンサンブル洪水予測 小林 健一郎 (神戸大学)	15:10~15:25	エアロゾルモデルの現状と課題 鈴木 健太郎 (東京大学大気海洋研究所)
11:25~11:40	新しいタイプのメソ渦と これに伴う竜巻状渦に関する高解像度 シミュレーション 板本 英伍 (東京大学大気海洋研究所)	15:25~15:35	質疑応答: 10分
11:40~11:55	台風21号による建築物への影響評価 河合 英徳 (東京工業大学)	15:35~15:50	【コデザイン】
11:55~12:10	質疑応答: 15分	15:35~15:50	重点課題4アプリケーションコデザイン 八代 尚 (国立環境研究所)
12:10~13:20	休憩 (ポスターセッション・諮問委員会開催)	15:50~16:00	富岳プロジェクトの紹介 佐藤 正樹 (東京大学大気海洋研究所)
13:20~14:25	【サブ課題B】	16:00~16:15	休憩 (ポスターセッション・舞台転換)
13:20~13:30	サブ課題紹介 佐藤 正樹 (東京大学大気海洋研究所)	16:15~17:05	5年間の総括 (諮問委員よりコメント、意見交換)
		17:05~17:10	閉会挨拶 高橋 桂子 (海洋研究開発機構 重点課題4責任者)

